# 司法試験等 CBTシステム 体験版操作マニュアル

【論文式試験】

# 【日次】

| 1. 画面全体の説明  |
|---|
| <ol> <li>問題エリアの使用方法</li></ol>                       |
| 2.1 問題エリアのツール使用方法                                   |
| 2.2 問題エリアの表示変更方法                                    |
| 3. 答案作成エリアの使用方法                                     |
| 3.1 答案作成エリアの表示 ···································· |
| 3.2 答案作成エリアのツール使用方法                                 |
| 3.2.1 文字検索・文字置換 ·······7                            |
| 3.2.2 入力した解答内容情報を元に戻す・やり直す                          |
| 4. 試験用法文エリアの使用方法                                    |
| 4.1 試験用法文の閲覧方法                                      |
| 4.2 試験用法文の文字検索                                      |
| 5. 構成用紙ツールの使用方法                                     |
| 6. 問題・答案作成・試験用法文エリアの表示切替機能の使用方法                     |
| 7. テキストコピー・切取り・貼付けの使用方法                             |
| 8. 画面表示切替機能の使用方法                                    |
| 8.1 画面表示倍率の変更                                       |
| 8.2 画面全体の色を変更する                                     |
| 8.3 画面(問題エリアを除く)背景色の変更                              |
| 9. 操作マニュアルの操作方法                                     |
| 10. 試験終了  |
| 11. (参考) 修正等履歴                                      |

| 法試験(  | CBTシステム(体験版)   | 4 5  | 6  | 7  | 8  | 受線 9 3 司法  |
|---|--|--|--|--|--|--|
| 文式 民  | 事杀科目第1間 第1間  | 展成用# 問題 法文 奈紫 入替<br>☆★ 04 門 第 0  | え コピー 切取り 粘付け<br>日 名 日   | ローマ学 かな<br>入力 入力   | 瓶大 縮小 フィルタ 配色<br>● ● ● ● ●   | <sup>後い方</sup><br>の<br>残り時間:00:09:55                       |
|   | <ul> <li>(配点:100〔[設問1]及び[設</li> <li>各文章を読んで、後記の[設問1(1)・(2))</li> </ul>   | 問2〕の配点は、50:50〕)<br>〕及び〔設問2〕に答えなさい。   | <b>3</b> 次续索   | <  | 目次 📕 ブックマーク一覧  | 検索<br>Q  |
| 1   | 、お、解答に当たっては、文中において特定 月1日現在において施行されている法令に基  | されている日時にかかわらず、令和6年<br>づいて答えなさい。  | 表紙   | ^ 1  | 二 ・法文の内容は、令和六年一月一日   | 現在において施行されている内容を登載し  |
| τ   | 事実】 1 Aは 清末に なき地でもス用土地な可   | カレブセカ 田土地の武右接の発電を美し  | 公法系科目  | ~  | <ul> <li>○・</li> <li>○ ・ 登載法令は、総目次のとおり、便<br/>て登載するため、複数の科目に関連</li> </ul> | 直上試験科目別に区分し、開連する法令を<br>する法令など当該科目に関連する法令であ                 |
|   | 1. Aは、速力に、至さ地での3年工地を所<br>はAである。<br>2. 合称9年4月1日 AのスPけ Aのア   | そも得かいます 田上地について CLの  | 民事系科目<br>刑事系科目   | ~  | 他の科目の区分に登載されている場   | 合がある。  |
|   | 間で、賃料月額5万円、賃貸期間30年間、<br>(以下「契約①」という。)をBの名にお  | ▲地所有目的との約定による賃貸借契約<br>いて締結1 同日 田土地をCに引き渡1  | 倒產法  | ž  |  |  |
|   | た。契約①の締結に当たり、Cが、Bに対<br>ス理由を易わたところ Bは 「Aは少で   | し、甲土地の所有権の登記名義人がAであ<br>あり、甲土地は呼にAから贈与してもらっ   | 经清法  | ~  |  |  |
|   | たものだから、心配はいらない。」と言い<br>約つには 田土地の毎日及び収入が不可能   | 善った。Cがなお不安がったことから、契  | 知的財産法 労働法  | ~  |  |  |
|   | <ul> <li>0万円と予定する旨の特約が付された。</li> <li>3 会和2年7月1日 Cは 田士地上に早</li> </ul>   | (以下「乙酸物」という、)を第  | 環境法<br>国際周辺法 (小法系)   | × .  |  |  |
|   | <ol> <li>市福2年7月1日、CR、中土地主に启<br/>造し、乙建物について所有権保存登記を備;</li> <li>今和3年7月10日 Bが急死した Bi</li> </ol>   | これ是も、Cは、乙建物に居住している。<br>は、満言をしておらず、また、Bの相続人   |  |  | 第1問  |  |
|   | は、Aのみである。Cは、Bの相続人が誰<br>亡後 田土地の賃料を供託している  | であるか分からなかったことから、Bの死  | 2  |  | 0/184行 0/5,520文字(空   | (白合む)検索 医検 元に戻す<br>Q Q の                                   |
|   | <ol> <li>5. 令和4年4月15日、Aは、甲土地をC:<br/>田土地の町右接に基づき 乙建物を収まし、</li> </ol>  | が利用していることに気付き、Cに対し、<br>て田土地を眼は漉すよう詰ました(DJ下   | AL 1   |  |  |  |
|   | 「請求1」という。)。これに対して、C(<br>占有する権利を有している。仮にそのよう;   | は、「⑦ <u>私は、契約①に基づいて甲土地を</u><br>な権利がないとしても、⑦300万円の損   | 3  |  |  |  |
|   | 害賠償を受けるまでは甲土地を占有する権利   | <u>利がある</u> 。」と反論した。   |  |  |  |  |
| (設  | 問1(1)〕<br>【事実】1から5までを前提として、次のア.  | 及びイの問いに答えなさい。  | ,  |  |  |  |
|   |  |  |  |  |  |  |
| アイ  | Cは、下線部⑦の反論に基づいて請求1を<br>下線部⑦の反論が認められない場合に、C   | 拒むことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線部のの反論に基づいて請求1を拒  |  |  |  |  |
| <i>F 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</i>                                  | Cは、下線部のの反論に基づいて請求1を<br>下線部のの反論が認められない場合に、C<br>むことができるかどうかを論じなさい。<br>問題エリア<br>問題文を縦スクロー<br>答案作成エリア  | #むことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線部のの反論に基づいて請求1を拒<br>- ルで確認すること;   | が可能です。   |  |  |  |
| 7 1 ·   | Ct, F###の反論に基づいて請求1を<br>F###のの反論が認められない場合に、C<br>むことができるかどうかを論じなさい。         問題エリア         問題文を縦スクロー         答案作成エリア         解答を入力するエリ         入力情報の戻るボタ   | Eもことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線副のの反論に基づいて請求1を拒<br>ールで確認することす<br>リアです。コピーやも<br>マンなどを使用する。  | が可能です。<br>切取り、貼付<br>ことが可能で   | けのです。  | ほか、文字椅   | 读索、文字置抄  |
| <i>アイ</i> :   | Ctt, F###@orgaitz-3v-ci#x1e         F###@orgaitz-3v-ci#x1e         F###@orgaitz-3v-ci#x1e         BID         Discover         BID         文を縦スクロー         答案作成エリア         解答を入力するエリ         入力情報の戻るボタ         試験用法文エリア  | #むことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線部のの反論に基づいて請求1を拒<br>ールで確認すること、<br>リアです。コピーや<br>マンなどを使用する。   | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で   | けのです。  | ほか、文字検   | 转索、文字置推<br>146.4.4   |
| アイ ::<br>・  | Cは、F準備のの反論に基づいて請求1を<br>下線部のの反論が認められない場合に、C<br>むことができるかどうかを論じなさい。<br>問題文を縦スクロー<br>答案作成エリア<br>解答を入力するエリ<br>入力情報の戻るボタ<br>試験用法文エリア<br>目次メニューのクリ  | Eもことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線副のの反論に基づいて請求1を拒<br>ールで確認することす<br>リアです。コピーや<br>マンなどを使用する。   | が可能です。<br>切取り、貼付<br>ことが可能で<br>により、試験   | †けの<br>ごす。<br>検用法  | ほか、文字椅<br>文の閲覧が可   | 検索、文字置換<br>J能です。   |
| アイ <sup></sup>  | Ct, F###000反論に基づいて請求1を<br>F###000反論が認められない場合に、C<br>むことができるかどうかを論しなさい。         問題エリア         問題文を縦スクロー         答案作成エリア         解答を入力するエリ         入力情報の戻るボタ         試験用法文エリア         目次メニューのクリ         構成用紙機能         携のまこができない。   | Eもことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線副のの反論に基づいて請求1を拒<br>ールで確認すること<br>フアです。コピーや<br>マンなどを使用する。<br>リックや文字列検索し  | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験   | †けの<br>ごす。<br>検用法  | ほか、文字検<br>文の閲覧が可   | 検索、文字置控<br>J能です。   |
| 7 1 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·                       | Cは、下海部のの庭舗に基づいて請求1を<br>下海部のの反論が認められない場合に、C<br>むことができるかどうかを論じなさい。<br>問題エリア<br>問題文を縦スクロー<br>答案作成エリア<br>解答を入力するエリ<br>入力情報の戻るボタ<br>試験用法文エリア<br>目次メニューのクリ<br>構成用紙の表示が可<br>問題エリア・文字が   | Eむことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線副のの反論に基づいて請求1を拒<br>・ハで確認することす<br>リアです。コピーや<br>なンなどを使用する。<br>リックや文字列検索<br>「能です。   | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験   | †けの<br>ごす。<br>検用法  |  | 資索、文字置担<br>「能です。   |
|   | Cは、下勝部のの局に基づいて請求1を<br>下線部のの反論が認められない場合に、C<br>むことができるかどうかを論しなさい。<br>問題文を縦スクロー<br>答案作成エリア<br>解答を入力するエリ<br>入力情報の戻るボタ<br>試験用法文エリア<br>目次メニューのクリ<br>構成用紙機能<br>構成用紙の表示が可<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作  | #むことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線副のの反論に基づいて請求1を拒<br>ールで確認すること;<br>リアです。コピーや<br>マンなどを使用する。<br>リックや文字列検索し<br>「能です。<br>「成エリア・試験用法<br>E成エリア・試験用法  | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験<br>た文エリア表                                 | けけの<br>ごす。<br>検用法<br>示表  | ほか、文字検<br>文の閲覧が可<br><del>しまま示 ままでままでのです。<br/>・非表示 ままでままでであります。</del>     | 検索、文字置換<br>了能です。   |
|   | Cは、下解館のの庭舗と基づいて請求1を<br>下線部のの反論が認められない場合に、C<br>たことができるかどうかを論しなさい。<br>問題エリア<br>問題文を縦スクロー<br>答案作成エリア<br>解答を入力するエリ<br>入力情報の戻るボタ<br>試験用法文エリア<br>目次メニューのクリ<br>構成用紙の表示が可<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>が可能です。  | #むことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線副のの反論に基づいて請求1を拒<br>・ハで確認することア<br>リアです。コピーや<br>なンなどを使用する。<br>リックや文字列検索の<br>「能です。<br>「成エリア・試験用<br>に<br>に、しア・試験用  | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試野<br>ま文エリア表<br>法文エリアの                       | けけす。<br>検用<br>法<br>示表  | ほか、文字様<br>文の閲覧が可<br><mark>長示・位置切</mark> れ<br>・非表示、表                      | 検索、文字置推<br>J能です。<br><mark>替機能</mark><br>長示位置の切替            |
| · · · · · ·   | <ul> <li>Cts, F###@orgait_#ziver##1e<br/>F###@orgait#solution##elector<br/>backfreeSolvEobealactore#color<br/>BIDE エリア</li> <li>問題文を縦スクロー<br/>答案作成エリア<br/>解答を入力するエリ<br/>入力情報の戻るボタ<br/>試験用法文エリア<br/>目次メニューのクリ<br/>構成用紙の表示が可<br/>問題エリア・答案作<br/>問題エリア・答案作<br/>問題エリア・答案作<br/>の可能です。<br/>テキストコピー・切</li> </ul>   | EDことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線副のの反論に基づいて請求1を拒<br>ールで確認すること;<br>リアです。コピーやす<br>マンなどを使用する。<br>リックや文字列検索り<br>可能です。<br>「成エリア・試験用注<br>E成エリア・試験用注   | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験<br><u>ま文エリア表</u><br>法文エリアの                | けけの<br>ごす。<br>角田<br>大<br>一<br>天<br>示   | ほか、文字椅<br>文の閲覧が可<br><del>して、位置切</del> す<br>・非表示、表                        | 検索、文字置換<br>J能です。<br><mark>皆機能</mark><br>長示位置の切替            |
| <i>ア</i> イ <sup>*</sup> · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | Cts, F###@orgails#styre##14         F###@orgails#styre##14         F###@orgails#styre##14         F###@orgails#styre##14         BB       L J T         問題       T         問題       文を縦スクロー         答案作成エリア       解答を入力するエリ         入力情報の戻るボダ       試験用法文エリア         目次メニューのクリ       構成用紙微能         構成用紙(の表示が可       問題エリア・答案作         問題       エリア・答案作         問題       エリア・答案作         調動可能です。       テキストコピー・切         試験用法文       構成用   | #むことができるかどうかを論じなさい。<br>が下線副のの反論に基づいて請求1を拒<br>ールで確認すること<br>フです。コピーや<br>なンなどを使用する。<br>リックや文字列検索し<br>し、クや文字列検索し<br>し、クや文字列検索し<br>し、「能です。<br>に成エリア・試験用<br>に成エリア・試験用<br>のり・貼付けツーハ   | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験<br>た文エリア表<br>法文エリアの                       | けす。<br>第<br>新<br>新<br>赤<br>赤<br>は  | ほか、文字様<br>文の閲覧が可<br><b> 支示・位置切</b><br>・非表示、表<br>けが可能です                   | 検索、文字置担<br>J能です。<br><mark>皆機能</mark><br>長示位置の切替            |
|   | Cts, F###@orgait_E-ty-ciak1e         F###@orgait_Bestraturuget, c         back#resolv2oheadtasuruget, c </td <td><ul> <li>EDことができるかどうかを論じなさい。</li> <li>ホ下確認のの反論に基づいて請求1を拒</li> <li>・ルで確認すること;</li> <li>・アです。コピーやち</li> <li>・ンなどを使用する。</li> <li>・ックや文字列検索の</li> <li>「能です。</li> <li>「成エリア・試験用?」</li> <li>「取り・貼付けツール</li> <li>「紙、答案等のコピー</li> <li>・入力切替機能</li> </ul></td> <td>が可能です。<br/>切取り、貼た<br/>ことが可能で<br/>により、試験<br/><b>、<br/>文エリア表</b><br/>法文エリアの<br/>ー・切取り・</td> <td>けけす。<br/>険用<br/><del>「す</del><br/>新<br/>一<br/>新<br/>一<br/>新<br/>一<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、<br/>、</td> <td>ほか、文字様<br/>文の閲覧が可<br/><del>しず、位置切れ、<br/>・非表示、ま<br/>けが可能です</del></td> <td>検索、文字置推<br/>J能です。<br/><mark>替機能</mark><br/>₹示位置の切替<br/>。</td> | <ul> <li>EDことができるかどうかを論じなさい。</li> <li>ホ下確認のの反論に基づいて請求1を拒</li> <li>・ルで確認すること;</li> <li>・アです。コピーやち</li> <li>・ンなどを使用する。</li> <li>・ックや文字列検索の</li> <li>「能です。</li> <li>「成エリア・試験用?」</li> <li>「取り・貼付けツール</li> <li>「紙、答案等のコピー</li> <li>・入力切替機能</li> </ul>                                 | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験<br><b>、<br/>文エリア表</b><br>法文エリアの<br>ー・切取り・ | けけす。<br>険用<br><del>「す</del><br>新<br>一<br>新<br>一<br>新<br>一<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、 | ほか、文字様<br>文の閲覧が可<br><del>しず、位置切れ、<br/>・非表示、ま<br/>けが可能です</del>            | 検索、文字置推<br>J能です。<br><mark>替機能</mark><br>₹示位置の切替<br>。       |
| 77 ·  |  | <ul> <li>EDことができるかどうかを論じなさい。</li> <li>ホ下確認のの反論に基づいて請求1を拒</li> <li>ハで確認すること;</li> <li>アです。コピーやも</li> <li>ンなどを使用する。</li> <li>リックや文字列検索し</li> <li>「能です。</li> <li>「成エリア・試験用?</li> <li>「取り・貼付けツール</li> <li>「紙、答案等のコピ・</li> <li>、入力切替機能</li> <li>ぶ可能です。</li> </ul>                     | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験<br>大エリア表<br>法文エリアの<br>ー・切取り・              | けです。<br>新<br>新<br>新<br>大<br>大<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、<br>、                             | ほか、文字椅<br>文の閲覧が可<br><del>しままで、まのですのです。<br/>しか可能です</del>                  | 検索、文字置換<br>J能です。<br><mark>皆機能</mark><br>長示位置の切替<br>-。      |
|   | Cts. 下勝館の仮論に基づいて課末1を<br>下職部のの反論が認められない場合に、C<br>たことができるかどうかを論しなさい。<br>問題エリア<br>問題文を縦スクロー<br>答案作成エリア<br>解答を入力するエリ<br>入力情報なエリア<br>目次メニューのクリ<br>構成用紙の表示が可<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同の表示切替えか<br>面面表示切替機能  | <ul> <li>EDことができるかどうかを論じなさい。</li> <li>ホ下確認すること;</li> <li>アです。コピーやも</li> <li>ンなどを使用する。</li> <li>リックや文字列検索し</li> <li>「能です。</li> <li>「成エリア・試験用?</li> <li>「取り・貼付けツーハ</li> <li>「紙、答案等のコピー</li> <li>「入力切替機能</li> <li>「可能です。</li> </ul>   | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験<br><b>太文エリア表</b><br>法文エリアの<br>ー・切取り・      | けず<br>角<br>示<br>表<br>助<br>析  | ほか、文字様<br>文の閲覧が可<br><del> 気示・位置切</del><br>・非表示、表<br>けが可能です               | 検索、文字置排<br>J能です。<br><mark>替機能</mark><br>€示位置の切替<br>-。      |
|   | Cは、下勝総の反論に基づいて講来1を<br>下職部のの反論に基づいて講来1を<br>下職部のの反論が認められない場合に、C<br>たこかできるかどうかを論にならい、<br>問題エリア<br>問題文を縦スクロー<br>答案作成エリア<br>解答を入力するエリア<br>試験用ま文エリア<br>目次メニューのクリ<br>構成用紙の表示が可<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>問題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>同題エリア・答案作<br>です。<br>テキストコピー・切<br>試験日ま文、構成月<br>ローマ字入力・かな<br>入力方法の切替機能<br>操作マニュアル面面   | <ul> <li>EDことができるかどうかを論じなさい。</li> <li>ホ下確認のの反論に基づいて請求1を拒</li> <li>ハで確認すること;</li> <li>アです。コピーやち</li> <li>ンなどを使用する。</li> <li>リックや文字列検索の</li> <li>丁能です。</li> <li>「成エリア・試験用?</li> <li>「取り・貼付けツール</li> <li>「私、答案等のコピー</li> <li>「入切替機能</li> <li>「可能です。</li> <li>「への切替えや面面</li> </ul>   | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験<br><b> 文エリア表</b><br>一・切取り・<br>音率の変更・      | けず<br>の<br>の<br>法<br><del>が</del> 表  | ほか、文字様<br>文の閲覧が可<br><b> 気示・位置切</b><br>・非表示、表<br>けが可能です<br>色・背景色の         | 検索、文字置推<br>J能です。   |
|   | Cは、下午前のの庭前に基づいて請求1を<br>下確認のの反論が思められない場合に、C<br>たことができるかどうかを論しなさい、<br>問題エリア<br>問題文を縦スクロー<br>客案を成エリア<br>解答作報スクロー<br>客案をすけてるエリア<br>利力時用法文エリア<br>間次メニューのクリ<br>構成用紙(の表示が可<br>問題エリア・答案作<br>が可す。<br>テキストコピー・切<br>試験ーマ字入力・かな<br>入力方法の切替機能<br>操作マニュアル画面<br>す。  | <ul> <li>EDことができるかどうかを論じなさい。</li> <li>ホア確認すること;</li> <li>アです。コピーやもなンなどを使用する。</li> <li>リックや文字列検索し</li> <li>びなど、</li> <li>びない、</li> <li>びない、</li> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>  | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験<br>大エリア表<br>古文エリアの<br>ー・切取り・              | けず<br>()<br>()<br>()<br>()<br>()<br>()<br>()<br>()<br>()<br>()   | ほか、文字様<br>文の閲覧が可<br>を示・位置切<br>・非表示、表<br>けが可能です<br>色・背景色の                 | 検索、文字置換<br>J能です。<br><b>皆機能</b><br>長示位置の切替<br>-。<br>つ変更が可能で |
| · · · ·   | Cts. Fmeidongaita-syretak1e<br>Fmeidongaita-syretak1e<br>Fmeidongaita-syretak1e<br>Fmeidongaita-syretak1e<br>Fmeidongaita-syretak1e<br>Fmeidongaita-syretak1e<br>BUL<br>T<br>BUL<br>T<br>BUL<br>T<br>BUL<br>T<br>C<br>C<br>C<br>C<br>C<br>C<br>C<br>C<br>C<br>C<br>C<br>C<br>C   | <ul> <li>EDことができるかどうかを論じなさい。</li> <li>ホ下確認のの反論に基づいて請求1を拒</li> <li>ハで確認すること;</li> <li>アです。コピーやも</li> <li>ンなどを使用する。</li> <li>リックや文字列検索の</li> <li>「能です。</li> <li>「成エリア・試験用?」</li> <li>「取り・貼付けツール</li> <li>「紙、答案等のコピー</li> <li>「入力切替機能</li> <li>「可能です。</li> <li>「の切替えや画面(</li> </ul> | が可能です。<br>切取り、貼た<br>ことが可能で<br>により、試験<br>大エリア表<br>ー・切取り・<br>倍率の変更・              | けず<br>角<br><b>示</b> 表<br>貼<br>面  | ほか、文字様<br>文の閲覧が可   | 検索、文字置換<br>J能です。   |



1. 問題エリア内を縦スクロールすることで、問題文を全文確認することが可能です。

|  | (集度用版) 药饭                                    | 法文 答案 入替え                                 | コピー 切覧り 粘付け | 0-77 50 | - 拡大 鍵小 フィル                                  | タ 配色 使い方 一番の                 |                                   |
|--|--|---|-------------|---------|--|------------------------------|-----------------------------------|
| <u> 日本和日第1期</u> 第1期<br>第1期〕(記古・100〔「設現1〕乃:                       |  |   |             | λη λη   |  | ~ ●   0 残り                   | 時間:00:09:55                       |
| 次の各文章を読んで、後記の〔設問1〕(  | (2) していていていていた。                              | No.                                       | Q、 目次検索     | <       | 目次 📘 ブックマー                                   | - クー覧 検索 Q                   |                                   |
| 1月1日現在において施行されている法。  | 令に基づいて答えなさい。                                 | 、市和6平                                     | 表紙          | ^ 1     | □ ・法文の内容は、令和:                                | 六年一月一日現在において施                | 行されている内容を登載して                     |
| [浙和]   |  |   | 000 表紙 (編書) |         |  |                              |                                   |
| <ol> <li>Aは、遠方に、空き地である甲土</li> </ol>                              | 也を所有しており、甲土地の所有権                             | の登記名義人                                    | 民事系称目       | Ĵ       | (二)・重載法行は、応日八)<br>て登載するため、複数(<br>他の利日の区台に発表) | の科目に関連する法令など当!<br>されている場合がある | (はかし、「周辺」の広告をよい<br>(は目に関連する法令であっ) |
| はAである。   | and the state of the second                  |   | 用車系科目       | ~       | 100/080/2010 ± 40                            | 01100-0488/0000              |                                   |
| 2. 〒和2年4月1日、Aの十Bは、2<br>間で、                                       | Aの丁車を得ないまま、甲土地につ                             | いて、しどの<br>る賃貸借契約                          | 倒產法         | ~       |  |                              |                                   |
| (以下 日日日五   | - 11 - 2                                     | Cに引き渡し                                    | 租税法         | ~       |  |                              |                                   |
| た。契  | エリア  | 義人がAであ                                    | 經濟法         | ~       |  |                              |                                   |
| る理由<br>たもの   |  | テしてもらつ<br>ことから、契                          | 知的財產法       | ×       |  |                              |                                   |
| 約①には、甲土地の使用及び収益が不  | 下可能になった場合について、損害                             | 賠償額を30                                    | 労働法         | ~       |  |                              |                                   |
| <ol> <li>0万円と予定する旨の特約が付された</li> <li>2 合称2年2月1日 Cは 円土地</li> </ol> |  | 1.3. 1. 2.00                              | 環境法 (小注系)   |         |  |                              |                                   |
| 造し、乙建物について所有権保存登記  | lを備えた。Cは、乙建物に居住し                             | ている。                                      |             |         | 25 1 53                                      |                              |                                   |
| <ol> <li>4. 令和3年7月10日、Bが急死した</li> </ol>                          | と。Bは、遺言をしておらず、また                             | 、Bの相続人                                    |             |         | 17 2 BY                                      |                              |                                   |
| は、Aのみである。Cは、Bの相続<br>亡後、田上地の優烈な研究している                             | 、が誰であるか分からなかったこと                             | から、Bの死                                    | 第1問         |         | 0/184년 0/5,5                                 | 520文字(空白含む) 🧧                | 1本 五会 元に戻すや<br>Q C い              |
| 5. 令和4年4月15日、Aは、甲士   | <b>也</b> をCが利用していることに気付き                     | 、Cに対し、                                    |             |         |  |                              |                                   |
| 甲土地の所有権に基づき、乙建物を町  | Q去して甲土地を明け渡すよう請求                             | した (以下                                    | 2           |         |  |                              |                                   |
| 「請求1」という。)。これに対して<br>占有する権利を有している。仮にその                           | 、、Cは、「② <u>私は、契約①に基づ</u><br>)ようか権利がかいとしても「④3 | いて<br>甲土地<br>を<br>1<br>の<br>の<br>万円の<br>掲 |             |         |  |                              |                                   |
| 害賠償を受けるまでは甲土地を占有:  | <u>*る権利がある</u> 。」と反論した。                      | 0.077176518                               | 5           |         |  |                              |                                   |
| 20.08 - (4)  |  |   | 8           |         |  |                              |                                   |
| (政間1(1))<br>【事実】1から5までを前提として、2                                   | たのア及びイの問いに答えたさい。                             |   | 7           |         |  |                              |                                   |
| ア Cは、下線部のの反論に基づいて請求  | k1を拒むことができるかどうかを                             | 論じなさい。                                    |             |         |  |                              |                                   |
| イ 下線部⑦の反論が認められない場合   | こ、Cが下線部①の反論に基づいて                             | 請求1を拒                                     |             |         |  |                              |                                   |
| むことかでさるかどうかを論じなさい。   |  |   |             |         |  |                              |                                   |

2. 問題エリア左側のツールバーにある各種ツール機能を使用することで、問題エリアへの 書き込み等することが可能です。

| 司法試験CBTシステム(体験版)  |  |                  |  |   |   | 受験番号 12345 司法 太郎  |
|---|--|------------------|--|---|---|---|
| 論文式 民事条約目第1間 第1間 荷葉目 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)  | コピー 切取り 貼付け<br>1日 😮 日  | ローマ字 かな<br>入力 入力 | 55 大<br>●  | 線小 フィルタ<br>⊝ ❹  | 記告 使い方<br>②   ①                                       | 残り時間:00:09:55 終7  |
| <ul> <li>【第1冊】(配点:100(120)(1)及び(20)(2)の定点は、50:50))<br/>次の各文章を読んで、後記の(20)(1)(2)及び(20)(2)に答えなさい、<br/>なお、解答に当たっては、文中において特定されている日時にかかゆらず、令和6年<br/>1月1日現在において施行されている法令に基づいて答えなさい。</li> <li>【事実】         <ol> <li>Aは、違方に、空き地である甲土地を所有しており、甲土地の所有権の登記名義人<br/>は太である。</li> <li>令和2年4月1日、Aの子Bは、Aの子長を得ないまま、甲土地について、Cとの<br/>間で、貸料月額5万円、貸貸期間30年間、建物所有1的との約定による貸貸借契約<br/>(以下「契約0)をいう。)をBの名において締結し、同日、甲土地をごに引き渡し<br/>た。現金印の締結にとちり、こが、Bに対し、甲土地の所有権の登記名義人があてあ<br/>る理由を尋ねたところ、Bは、「Aは父であり、甲土地は既にAから勝ちしてもらっ<br/>たものだから、心症はいらない。」と言い場一式について、損害賠償額を30<br/>の万円と予定する旨の特許が作された。</li> <li>3、含め2年2月1日、Cけ、田一地地に留い日間は物(1)(2)(2)(2)(2)(2)</li> </ol> </li> </ul>  | Q         田次焼焼焼           茶紙         000 須城 (国務)           公法系化目         月屋系糸印目           月屋系糸印目         周辺           月屋系糸印目         周辺           月屋系小印目         周辺           月屋系小印目         月屋           月屋         人切り財産法           万衡法         国政           現成法         万衡法           環境法         明明(昭和派法(小公主集))  | *                | <ul> <li>日次</li> <li>二、法工<br/>る。</li> <li>二、金重</li> <li>他の利</li> </ul> | ■ プックマークー<br>の内容は、令和六年<br>総合体は、短日次のとお<br>第3たの・機動の料目<br>目の区分に登載されて | ■ 様素<br>Q<br>一日現在にお<br>わ、便宜上試験<br>に開連すと法令<br>ののる場合がある | いて勝行されている内容を動象してい<br>和目別に広分し、疑惑する後令をまぐめ<br>など無部句目に関連する法令であっても |
| 3<br>造し、乙建物について所有権保存登記を備えた。Cは、乙建物に居住している。<br>4、令和3年7月10日、Bが急死した。Bは、遺言をしておらず、また、Bの相談人  |  |                  |  | 98 1 88   |   |   |
| <ul> <li>は、乙種物について用目胞性芽生症と聞えた。しは、乙種物に急狂している。</li> <li>4、令前3年7月10日、お浴菜した、Bは、貴倉としておらず、また、Bの相談人<br/>は、Aのみである。Cは、Bの相談人が誰であるか分からなかったことから、Bの死<br/>亡後、甲土地の資料を規定している。</li> <li>5、令和4年4月15日、Aは、甲土地をのが利用していることに気付き、Cに対し、<br/>甲土地の資料を規定している。</li> <li>5、令和4年4月15日、Aは、甲土地をのが利用していることに気付き、Cに対し、<br/>甲土地の資料を提出している。</li> <li>5、令和4年4月15日、Aは、甲土地をのが利用していることに気付き、Cに対し、<br/>甲土地の資料を提出している。</li> <li>5、令和4年4月15日、Aは、甲土地をのが利用していることと気付き、Cに対し、<br/>甲土地の資料を提出している。</li> <li>5、令和4年4月15日、Aは、甲土地をのが利用していることと気付き、Cに対し、<br/>甲土地の資料を提供している。</li> <li>5、令和4年4月15日、Aは、甲土地をのが利用していることと気付き、Cに対し、</li> <li>7、「新和1」という。</li> <li>7、「単和2のの反論に基づいて読れ」を指むことができるかどうかを論じなさい。</li> <li>7、「単和2のの反論に認づいて読れ」を指むことができるかどうかを論じなさい。</li> <li>7、「単和2のの反論に認づいて読れ」の書に、Cが下線都のの反論に基づいて読れ」を指<br/>むことができるのがどうかを論じなさい。</li> </ul> | <pre>     #18     #1     #</pre> |                  |  | 0/18417 0/5,5203  | (空白音む)  |   |

| ツール名称     | ツールバーアイコン    | 機能内容  |
|-----------|--------------|---|
| ハンドツール    | ٢            | 問題エリアを掴んで、上下にスク<br>ロールすることが可能です。*1                  |
| ペンツール     | 5 5          | 問題エリアに自由曲線を書き込む<br>ことが可能です。黒・赤・青の3<br>色が使用可能です。**   |
| マーカーツール   | 1 1 1 1      | 問題エリアにマーカーを引くこと<br>が可能です。橙・黄・緑・青・赤<br>の5色が使用可能です。*1 |
| テキスト入力ツール |              | 橙・黄・緑・青・赤の5色から選<br>択し、問題エリアヘテキスト入力<br>が可能です。*2      |
| 消しゴムツール   | <b>\$ \$</b> | サイズを3段階から選択し、書き<br>込んだ自由曲線、マーカー、テキ<br>ストの削除が可能です。*3 |

3. 各ツールの機能内容は以下のとおりです。

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup>ハンドツール、ペンツール、マーカーツールは、問題エリア上で、マウスをドラッグ(左 クリックした状態で動かす)することで、使用可能です。

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup>テキスト入力ツールは、問題エリア上の任意の地点をクリックすることで、橙色の入力欄 が表示され、キーボード入力によるテキスト入力が可能となります。また、テキスト入力ツ ール下部の緑色の部分をドラッグすることで、任意の位置に移動させることができます。 <sup>3</sup>消しゴムツールは、テキスト入力した内容を消す場合には、該当テキスト欄をクリックす ることで削除可能です。また、ペン・マーカーツールによる書き込み内容を消す場合には、 消したい箇所をマウスでドラッグすることで削除可能です

## 2.2 問題エリアの表示変更方法

1. 問題エリア左側のツールバーにある各種ツール機能を使用することで、問題エリアの表示方法を変更することが可能です。

| 司法試験CBTシステム(体験版)  | 受験番号 12345 司法 太郎  |
|---|---|
| 建文式 民事系和目第1間 第1間 構成用紙 問題 法文 高宏 入量之<br>由 四 即 0   | □ビー 切除り 解付け ローマ学 90 拡大 縮小 フィルタ 配合 使い方<br>町 家 □ 入方 入方 ④ ○ 0 ● ① 残り時間:00:09:55 総プ   |
| <ul> <li>(福) (田) (伝点:100)((20)(1)及び(20)(2)及び(20)(2)(2)なんななまない。</li> <li>(本)なお、新客に当たっては、文中において特定されている日時にかかからず、今角6年<br/>1月11日現在において施行されている法令に基づいて等えなさい。</li> <li>(本)(本)(本)(本)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)</li></ul>  | Q         四方法書         ● 20 本         20 ホ         20 ホ </td |
| <ol> <li>3. P和2年7月1日、Cは、甲二連工に層に用連約(以下) 二連約() という) を乗<br/>遣し、乙連物について所有権保存登記を備えた。Cは、乙連物に居住している。</li> <li>4. 会和3年7日10日、Bが急撃した Bは、遭当たしておらず また Bの用線人</li> </ol>  | 94 1 M  |
| 2 は、ののみである。これ、このまたには、Dita、進出をしくためり、また、ための構成、<br>は、ののみである。これ、Doの他長が通常であるかからかたかったことから、Bの定<br>こ歳、甲土地の時不確に添つき、これを対していることに気付き、Cに対し、<br>甲土地の所不確に添つき、こ地を対していや土地を明ざ成すよう語水した(以下<br>「請水1)という」。これにおけて、Cは、10名は、2000に進み3℃甲土地を<br>占有する種類を行している。保護に行めたの、Dita」という。<br>書類のであるためでは、2000に進み3℃の目的に進み3℃の中土地を<br>占有する種類を行している。保護に行めたの、Dita」という。 | 第1號 0/184f7 0(5,520文字 (空日台口)  |
| (統備10)<br>【本末】1からちまでを前後として、次のア及びイの回いに至えなさい。<br>ア Cは、下海部のの反論に基づいて請求1を拒むことができるかどうかを論じなさい。<br>イ 下海部のの反論が認められない場合に、Cが下資部のの反論に基づいて請求1を拒<br>むことができるかどうかを論じなさい。  |   |
| Thirsiz1  |   |

2. 各ツールの機能内容は以下のとおりです。

| ツール名称       | ツールバーアイコン | 機能内容  |
|-------------|-----------|---|
| 問題表示倍率変更ツール | Ð         | 問題エリアの表示倍率の変更が可<br>能です。*4   |
| 問題表示幅変更ツール  | ± ₩       | 問題エリアの縦幅もしくは横幅に<br>合わせた表示が可能です。**   |
| 問題表示頁変更欄    | 1 2       | 左側に現在閲覧中の頁番号、右側<br>に全体の頁数が表示されます。<br>左側の頁数に任意の数字を入力す<br>ることで、該当頁の表示が可能で<br>す。 |
| 問題頁送りツール    | < >       | 「<」をクリックすることで問題<br>の前頁、「>」ボタンをクリック<br>することで問題の次頁の表示が可<br>能です。*4               |

<sup>&</sup>lt;sup>4</sup>問題表示倍率変更ツール、問題表示幅変更ツール及び問題頁送りツールは、各ツールをク リックすることで、使用可能です。



## 3.1 答案作成エリアの表示

1. 解答した文字数、行数は答案作成欄の上部に表示されます。



 問題が複数ある場合(選択科目)、答案作成欄上部の解答タブをクリックすることで、 答案の切替えが可能です。

<第1問の答案作成エリア>

<第2問の答案作成エリア>



## 3.2 答案作成エリアのツール使用方法

#### **3.2.1** 文字検索・文字置換

- 1. 入力した解答内容に対して文字検索ができます。「検索」ボタンをクリックすること で、検索バーが表示されます。
- 検索したい文字を入力し、エンターキーもしくは「検索」ボタンをクリックすること
   で、解答内容に対して該当文字の検索することが可能です。



 検索文字入力欄の右側に検索対象数が表示されます。検索対象数の分子の数字は、対象 数に対して橙色で色塗りされた文字が何番目の検索文字かを表します。 検索対象として選択されている箇所は、「A」・「V」ボタンをクリックすることで移動 することが可能です。

|     | 第1時 運転 110 0 ~ > ×  |
|-----|---|
| 第1問 | 23/200行 666/6,000文字 (空白盒む) 🧕 🧝 💦 🖤  |
| 91  | この法律において「無免許運転」とけ、法令の規定によ       「運転」という文字が 10         免許を受けていて考知は法理ないはしてしなっての思うに       「運転」という文字が 10         運転免許詞<br>運転できる       1番目の「運転」という文         されていてきる       ローム・ステレン・キャー・ション |
|     | とされてい     子     じめることを衣しより。     定により当       該免許の效     国際運転免       許証若しくは外国運転免許証を所持しないで(回法第八十八条第一)   |
|     | □項第二号から第四号までのいずれかに該当する場合又は本邦に上陸<br>□ (住民基本台帳法(昭和四十二年法律第八十一号)に基づき住民基<br>□ 太台嶋に記録されている者が出入国管理及び難民認定法(四和二十一一   |

 「置換」ボタンをクリックすることで、検索対象文字を置換することが可能です。下段 に置換後文字入力欄に入力し、「置換」ボタンをクリックすることで、橙色で色塗りさ れた箇所のみ置換します。「一括」ボタンをクリックすることで、検索対象文字全てを 一括置換できます。



### 3.2.2 入力した解答内容情報を元に戻す・やり直す

- 1. 「元に戻す」ボタンをクリックすることで、入力した解答内容について、入力操作1回 分戻すことが可能です。(最大 10 回前の内容まで戻すことが可能です。)
- 「元に戻す」ボタンにより戻し過ぎた場合には、「やり直す」ボタンをクリックすることにより、「元に戻す」で戻した情報をやり直すことが可能です。 ショートカットキー(Ctrl キー+Z キー)<sup>※5</sup>を入力することでも、入力した1つ前の内容に戻すことが可能です。



ー)を押すことで入力することが可能です。

<sup>&</sup>lt;sup>5</sup>ショートカットキーとは、キーボードの Ctrl キーを押しながら指定したキー(例:Zキ

## 4. 試験用法文エリアの使用方法

## 4.1 試験用法文の閲覧方法

1. 試験用法文エリアに目次及び試験用法文が表示され、試験用法文エリアを縦スクロール で閲覧が可能です。

| R110801327A              | 98651200 Hz 13 10  |   |   |
|--------------------------|--|---|---|
| 8202                     | 2 2 2 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2  | Q 目次検索  | く 目次 見 ブックマーク一覧 🙀   |
| 2<br>論文式試験問題集 (刑事所科目第1四) | C III C III CONTRACTOR CONTRACTON | <ul> <li>表紙</li> <li>公法系科目</li> <li>民事系科目</li> <li>刑事系科目</li> <li>例還法</li> <li>知的財産法</li> <li>労働法</li> <li>環境</li> <li>国際関係法 (公法系)</li> </ul> | <ul> <li>○試験用法文</li> <li>□ ・注文の内容は、令和三年一月一日現在において、既に公布され、かつ、試験日以前に施行されることが確定している内容を登載している。</li> <li>□ 全観法令は、総日次のとおり、便正上試験相目別に区分し、隧道する法令をあとめて登載するため、総動の相目に転運する法令であっても他の和目の区分に登載されている場合がある。</li> <li>試験用法文</li> </ul> |

 「目次」ボタン、又は「目次検索」欄右にある「<」アイコンをクリックすることで、 目次を非表示にできます。また、非表示後、再度、目次を表示させたい場合には、「目 次」ボタンをクリックすることで、目次画面の再表示が可能です。

| Q、目次検索     |  |
|------------|--|
| 表紙         | ✓ <sup>1</sup> □ ○試験用法文  |
| 公法系科目      | <ul> <li>・法文の内容は、令和三年一月一日現在において、既<br/>に施行されることが確定している内容を登載している</li> </ul>      |
| 刑事系科目      | <ul> <li>・登載法令は、総目次のとおり、便宜上試験科目別に</li> <li>ご登載するため、複数の科目に関連する法令など当該</li> </ul> |
| 倒產法        | 他の科目の区分に登載されている場合がある。  |
| 知的財産法      | ~  |
| 労働法        | ~  |
| 環境法        | ~  |
| 国際関係法(公法系) | ~  |
| 国際関係法(私法系) | × -  |

3. 「目次の科目名」を選択することで、法律名が表示されます。法律名をクリックすると 右側に当該法律が表示され、縦スクロールで閲覧が可能です。



 表示された試験用法文に対して、各行左側にあるブックマークアイコンをクリックする ことで、行単位でブックマーク登録が可能です。ブックマークした試験用法文は、「ブ ックマーク一覧」をクリックすることで、一覧表示が可能です。

| Q 目次検索   | <  | 目次 📕 ブックマーク一覧 😋   |
|--|----|---|
| 表紙 ~   | î. | □ ○国家賠償法  |
| 公法系科目 ^  |    | □ 昭和二十二年十月二十七日法律第百二十五号  |
| 001 日本国憲法(昭和二一年一一月三<br>日)  |    | □ 国家賠償法をここに公布する。  |
| 002 日本国憲法の改正手続に関する法律<br>(平成一九年法律第五一号)  |    | □ 国家賠償法   |
| 003 国家賠償法(昭和二二年法律第一二<br>五号)  | l  | ■ 第一条 国又は公共団体の公権力の行使に当る公務員が、その<br>た、故意又は過失によつて違法に他人に損害を加えたときは、  |
| 004 個人情報の保護に關する法律(平成<br>一五年法律第五七号)   | Ĩ  | これを賠償する責に任する。<br>① ② 前項の場合において、公務員に故意又は重大な過失があつ<br>共団体は、その公務員に対して求償権を有する。   |
| <ul> <li>005 国会法(昭和二二年法律第七九号)</li> <li>006 公職道挙法(昭和二五年法律第一〇<br/>〇号)</li> </ul> |    | <ul> <li>第二条 道路、河川その他の公の営造物の設置又は管理に現現<br/>に損害を生じたときは、国又は公共団体は、これを賠償するま</li> <li>前項の場合において、他に損害の原因について責に任ぎく</li> </ul> |

5. ブックマーク登録した試験用法文の中から再度閲覧したい項目をクリックすることで、 確認が可能です。



## 4.2 試験用法文の文字検索

1. 目次上部の「**日次検索**」欄に検索対象の文字入力をすることで、該当文字を含む目次情報の抽出が可能です。



 表示されている試験用法文に対して、文字検索が可能です。試験用法文の上部にある 「検索」ボタンをクリックします。

| Q. 特許 <                   | 目次 🔳 ブックマーク一覧                 |   |
|---------------------------|-------------------------------|---|
| 知的財産法 ^ 1                 | 口 〇特許法                        | î |
| 079 特許法(昭和三四年法律第一二一<br>号) | □ 昭和三十四年四月十三日法律第百二十一号         |   |
|                           | 口 特許法をここに公布する。                |   |
|                           | □ 特許法                         |   |
|                           |                               |   |
|                           | 口 第一章 総則(第一条一第二十八条)           |   |
|                           | 口 第二章 特許及び特許出願(第二十九条一第四十六条の二) |   |
|                           | □ 第三章 審査(第四十七条一第六十三条)         |   |
|                           | 口 第三章の二 出願公開 (第六十四条一第六十五条)    |   |
|                           | 口 第四章 特許權                     |   |
| Ψ                         | □ 第一節 特許權 (第六十六条一筆九十九条)       | * |

3. 検索文字入力欄が表示されます。検索したい文字入力を行い、エンターキーをクリック することで、該当文字箇所が色塗り表示されます。



検索文字入力欄右側に検索対象数が表示されます。検索対象数の分子の数字は、対象総数(分母)に対して橙色で色塗りされた文字が何番目の検索文字かを表します。
 検索対象として選択されている箇所は、「A」・「V」ボタンをクリックすることで移動可能です。





論文式 民事系科目第1間 第1問

 構成用紙画面の左側のツールバーにある各種ツール機能を使用することで、上部の欄に 書き込み等をすることができます。ツールバーにある各ツールの機能内容は、問題エリ ア左上のツールバーと同様です。ツールバーを使わずに、下部の欄にテキスト入力をす ることもできます。

| 司法訓験CBTシステム(体験版)  | 受験番号 12345 司法 太郎   |
|---|--|
| 論文式 民事茶科目第1間 第1間  | #え □ビニ 切取り 私付け ローマチ かな 新大 縮小 フィルタ 紀色 使い方<br>G ★ □ → カ → カ の ⊕ の ★ 0 残り時間:00:09:44 純了 |
| <ul> <li>【第1問】(配点:100(【設問1])及び(設問2]の配点は、50:50))<br/>次の各文章を減んで、後記の(設問10)(2)及び(設問2)に等えなさい。<br/>なお、解答に当たっては、文中において特定されている日時にかかわらず、令和6年<br/>1月1日現在において施行されている法令にあついて答えなさい。</li> <li>【事実】         <ol> <li>Aは、遠方に、空き地である甲土地を所有しており、甲土地の所有権の登記名義人<br/>はみである。</li> <li>合和2年4月1日、Aの子Bは、Aの丁葉を得ないまま、甲土地について、Cとの<br/>間で、覚料月額5万円、賃貸期間30年間、建物所有目的との約定による賃貸借契約<br/>(以下「咳約①)という。)をBの名において締結し、同日、甲土地をて引き渡し<br/>た。契約①の締結に当たり、Cが、Bに対し、甲土地の所有権の登記名義人が入て<br/>る便由全尋れたところ、Bは、「Aは文であり、甲土地(試にひから贈与してもらっ<br/>たものだから、心配はいらない、」と言い語った。Cがなお不安がったことから、契<br/>約①には、甲土地の使用及び取益が不可能になった場合について、損害賠償額を30<br/>0万円と予定する旨の特約が付された。</li> <li>令和2年7月1日、Cは、甲土地に定時止用建物(以下「乙速物」という。)を集<br/>造し、乙建物について所有権保存登記を備えた。Cは、乙達物に居住している。</li> <li>今和2年7月1日、B、新公売たた。Bは、遺言をしておらず、また、Bの相能人<br/>は、Aのみである。Cは、Bの相能人が誰であるか分からなかったことから、Bの死<br/>亡後、甲土地の資料権保格している。</li> <li>今和4年4月15日、Aは、甲土地をさ利用していることに気付き、Cに対し、<br/>甲土地の資料権保格している。</li> <li>う合和4年4月15日、Aは、甲土地をさの利用していることに気付き、Cに対し、<br/>甲土地の資料権保格している。</li> <li>う合和4年4月15日、Aは、ビキレ地をとが利用していることに気付き、Cに対し、<br/>甲土地の資料権住に基づき、乙雄物を取去して甲土地をするう読むた。Bの死<br/>亡後、甲土地の資料権性としてい、<br/>(認知1)という。)。これに対して、Cは、⑦を掘しまいでもの、3000万円の増<br/>害賠償を受けるまでさきたって法律利が広かとしても、(2)</li></ol></li></ul> |  |

3. 構成用紙画面上部にある「左配置」「全画面」「右配置」ボタンをクリックすること で、構成用紙画面の位置・表示方法の切替えが可能です。

| 司法試験CBTシステム(体験版)  |   |                      |                              |   | 受験番号 12345 司法 太郎 |
|---|---|----------------------|------------------------------|---|------------------|
| 論文式 民事系科目第1問 第1問  | 構成用紙 問题 法文<br>井 ロ』 🖪                    | 答案 入替え コピー<br>同 〇 10 | 切取り 新付け ローマ学 かな<br>★ 自 入力 入力 | 拡大 縮小 フィルタ 配色 使い方<br>④   ◎ <b>④   ◎</b> ① | 残り時間:00:09:44 終了 |
| <ul> <li>(第1問)(配点:100[[設問1]及び[設問2]の直<br/>次の各文章を読んで、後記の[設問1(1)・(2)]及び[設<br/>かな 幅空に当たってけ、今由にないて統定されていス</li> </ul> | 点は、50:50〕)<br>問2〕に答えなさい。<br>ロ時にかかわたず 今番 | ¢ م                  | 0 :                          |   | 左配器 全面両 右配器 聞じる  |

#### 【右配置】



#### 【全画面】

| は這切においえテム(体験版)   |  | 6946913345 RE 338 |
|------------------|--|-------------------|
| ese naannaara an | READ RA 22 EX X82 107 1089 M101 D-17 10 5A 89<br>8 0 5 8 00 0 2 0 0 10 10 10 0 0 0 0 | исия: 00:09:30 🖉  |
| (                |  | SAR SAR SAR ING   |
| 1                |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  | 1  |                   |
|                  | 1  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |
|                  |  |                   |

#### 【左配置】



再度、「構成用紙」ボタンをクリックする、又は「閉じる」ボタンをクリックすること
 で、構成用紙画面を閉じることができます。

※構成用紙画面を閉じても、試験が終了するまでは書き込んだ内容は消えず、再度構成 用紙画面を開くことで、続きから書き込むことができます。

| 司法試験CBTシステム(体験版)  |                                 |                   |                   |      |            |                  |          |                  |         |               |       |          | 受験番号 12345            |      | t (BB |
|---|---------------------------------|-------------------|-------------------|------|------------|------------------|----------|------------------|---------|---------------|-------|----------|-----------------------|------|-------|
| 論文式 民事系科目第1間 第1問  | 構成用紙<br>井                       | Pi Mi<br>Då       | 法文                | 答案 入 | 替え ⊐<br>O- | ย– เมชุง<br>โป X | 船付け<br>自 | ローマ学 かな<br>入力 入力 | 拡大<br>④ | 縮小 フィル<br>〇 0 | レタ 配色 | 使い方<br>① | 残り時間:00:09            | 9:44 | 終了    |
| <ul> <li>● (第1問)(記点:100[201]及び(設問2)の直<br/>次の各文章を読んで、後記の(設問1(1)・(2))及び(20<br/>かな) 報答に当たっては、文田において集定されている。</li> </ul> | 点は、5<br>問2〕に<br><sup>日時にか</sup> | 0:5<br>答えな<br>かわら | 0〕)<br>さい。<br>ギ 合 | £⊓┎年 | Î          | 0                | :        |                  |         |               |       |          | 左配器 全画面 右配<br>〒 13 30 |      | 50    |

## 6. 問題·答案作成・試験用法文エリアの表示切替機能 の使用方法

 「問題ボタン」・「答案ボタン」・「法文」ボタンをクリックすることで、問題エリ ア・答案作成エリア・試験用法文エリアの表示と非表示を切替えることができ、3 種類 の任意の組み合わせで1画面~3画面表示をすることができます。 試験開始時は問題エリア・試験用法文エリア・答案作成エリアが全て表示された3画面 表示です。

| 司法試験CBTシステム(体験版) |           |              |    |         |            |          |                 |          |            |          |        |         |      |    |          | 受験番号 12345 |      | 太郎 |
|------------------|-----------|--------------|----|---------|------------|----------|-----------------|----------|------------|----------|--------|---------|------|----|----------|------------|------|----|
| 論文式 民事乐科目第1間 第1問 | 構成用紙<br>井 | [問題<br>[119] | 法文 | še<br>F | 入替え<br>- 〇 | ⊐⊻-<br>0 | 切取り<br><b>米</b> | 貼付け<br>自 | ローマボ<br>入力 | かな<br>入力 | ≲<br>● | 縮小<br>回 | フィルタ | 能色 | 使い方<br>① | 残り時間:00:09 | 9:55 | 終了 |

 それぞれの欄の境界をドラッグすることで、表示比率を変更することができます。問題 エリアの表示比率を変更するには、マウスの左ボタンを押しながら左に動かすことで縮 小し、右に動かすことで拡大することが可能です。

※以下の図は、問題エリアの表示比率を調整した場合を表しています。



<左に動かした場合>

| RELATION TO A TAXABLE  |   |                                   | 9948412246 882.308                  |  |  |  |
|--|---|-----------------------------------|-------------------------------------|--|--|--|
| BOX DEBARESS NO.   | 11 11 12 14 14 14   | 2년 역82 8년 047 81 65 89 2465 89 86 | NOHR:00:00:00                       |  |  |  |
| C (11.0), and then (1001) and (1001)<br>point results, and (1001) and (1001)<br>and and (1001) and (1001) and (1001)<br>and (1001) and   | C) 20120<br>No.<br>400 (2012)<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20120<br>20 |                                   | AL<br>SCIETZLO, HEGARCHITZ<br>1995. |  |  |  |
| <ul> <li>Φιταν Α1 του, ποθαζία, π. π.<br/>τι, αλολοά, κ. π. βοσθαζία, π. π.<br/>τι, αλολοάς, κ. π. βοσθαζία, βατό<br/>του, υπορεία του πορεία<br/>του πορεία του πορεία του πορεία<br/>πορεία του πορεία του πορεία<br/>του πορεία του πορεία του πορεία<br/>(Επαιτά)<br/>Επαιτικός του πορεία του πορεία<br/>του πορεία του πορεία του πορεία<br/>του πορεία του πορεία του πορεία<br/>το πορεία του πορεία του πορεία<br/>το πορεία του πορεία του πορεία<br/>το πορεία του πορεία του πορεία του πορεία του πορεία<br/>το πορεία του πορεία του πορεία του πορεία του πορεία του πορεία<br/>το πορεία του πορεία του πορεία του πορεία του πορεία του πορεία<br/>το πορεία του π</li></ul> | R(R   | ¥18<br>1944 14.3528 (2020)        |                                     |  |  |  |





2. 各ツールの機能内容は以下のとおりです。

| ボタン名称 | ボタンアイコン                           | 機能内容                        |
|-------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 問題ボタン | 表示状態 非表示状態<br>問題 問題<br>ロリ ロリ      | 問題エリアの表示・非表示を切り替えま<br>す。    |
| 法文ボタン | 表示状態 非表示状態<br>法文 法文<br><b>に</b> 【 | 試験用法文エリアの表示・非表示を切り替<br>えます。 |
| 答案ボタン | 表示状態                              | 答案作成エリアの表示・非表示を切り替え<br>ます。  |

<3 画面表示の例(問題・法文・答案)>



#### <1 画面表示の例(法文)>

| 司法副規模CBTシステム(体験機)   | 受機動号 12543 司法 太郎   |
|---|--|
| 論文式 昆泰系织鼠带 2 则 第2则  | 85.98 H 52 Sπ Λ83 32- 580 Hrit 0-79 H 5Λ 80 2<6.0 K1 81/7 80000100 #Υ<br># 8 5 8 0 0 5 X 0 3.6 3.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0   |
| Q BRAR  | ах <b>х</b> 7у77-5-ж <sup>98</sup> с   |
| Encode     Encode | Barrier         Barrier           0         0.84           0         0.84           0         8.84     < |
| 01-10000000000000000000000000000000000  | I HER MERCENSING MERCENSING         Alexa Amples           I HER MERCENSING         Alexa Amples                                       |

#### <2画面表示の例(問題・答案)>

| 試験CBTシステム(体験版)   |   |       |                                   |                          |
|--|---|-------|-----------------------------------|--------------------------|
| r R#640828 828   | RSRE RZ 52 58 A88<br>8 00 7, 57 0   | 0 × 0 | 0-17 30 EX 80 7459<br>X0 X1 0 0 0 | 10:00:00 ALONE: 00:00:00 |
| (第2問) (記念:100〔(設問1) 8  | (2011年1月1日) の現在の割合は、60:40))   |       | 20 A                              |                          |
| 次の文章を読んで、後記の【投間1】  | 及び【 <b>設問2】</b> に答えなさい。   |       |                                   |                          |
|  |   | 第2間   | Q/18497_0/5,5203                  | 文字(空白真む)                 |
| 1. 甲株式会社(以下「甲社」という。)   | は、建築設備機器の根造及び販売等を目的とする  | 8.1   |                                   |                          |
| 会社法上の公開会社である取得役会設置   | 【会社であり、種類株式発行会社ではない、甲社の発  |       |                                   |                          |
| 行資料式の総数は500万株であり、約   | は主数は1000名であった。甲社には、A、B及び  |       |                                   |                          |
| C (以下、A、B及びCを総称して「2  | uら」という。)の3名の取締役並びにDほか2名の  |       |                                   |                          |
| 計3名の監査役がおり、Aが代表取締約   | とを務めていた。なお、甲牡の取締役であるAらは甲  |       |                                   |                          |
| 社の構成を僅有していたが、単社の転信   | E役であるDIはか2名は単社の株式を係有していなか   |       |                                   |                          |
| OT I I I I I I I I I I I I I I I I I I I   |   |       |                                   |                          |
| こ時にの発行(以下)」こ在」という。)  | は、他心の建設及び売買等を目的とする物料設在で   | 2     |                                   |                          |
| あり、中住の発行資料式の総数の20%   | 品に相当する100万株を採有する甲位の車関株主で  |       |                                   |                          |
| 10076  |   |       |                                   |                          |
| 2. 甲他の近年の東線の悪化していたこと   | から、乙化は、常標3年7月20日、甲化に対し、   |       |                                   |                          |
| (1)収絶役3名の解任の件、②監査役3名   | の解任の件、当時時後3名の遺任の件、法監査後3   |       |                                   |                          |
| 名の遺任の件(以下、これらを総称して   | (本件各議題)という。)を目的とする株主総合の   |       |                                   |                          |
| 高先を調味した。しかし、中田は、株当   | 3部2016年期現金発しなかった。   |       |                                   |                          |
| 3. そこで、公内は、守和3年9月27日   | 1、彼利男の計可を得て、単位の施士に対し、本件   |       |                                   |                          |
| を増加られたとうとなったからに立てい   | ・「本田福時株主和賞1」という。」を開催するため、   |       |                                   |                          |
| 必要事項を記載した招乗連知を発した。   | 自該指数通知の入った時書には、講談権行使者組及   |       |                                   |                          |
| い株主総会参考書類の法治、「議決権の年  | 「他のお願い」と地下る書籍(以下「本件書面」とい  |       |                                   |                          |
| う。) が何月されていた。本件費用にし  | 中世の意味の実現に個品力をお願い中し上げます。   | 0     |                                   |                          |
| 7.株主総営参考資料に記載したら記録<br>第日、1000円10米の高見急ん数300   | (第の)登録楽のとり れにも知識していただいためには、<br>いて間目をおかりためませた。会どの影響について見   |       |                                   |                          |
| ALL STOCKED ST | CHERCE CONCLUSION AND A COMPRESSION OF CH   |       |                                   |                          |
| A Pair White an order Method and   | HARDING CONTRACTORY CONTRACTORY CONTRACTORY   |       |                                   |                          |
| And the state of t | REEEの時にして、中国人は中国の原則有してはREE  |       |                                   |                          |
| 主が一定の行動で強調で強いてした人に載り   | CHEVITERING MILE C CHARGE WESSEN CICCE  |       |                                   |                          |
| 4  | -16.0 1 (2000) 2 h +12.5 (2000) - (21.7 (2.40)  |       |                                   |                          |
| ALTERIATION 201, APPENDENTS  | THE REPORT OF A REPORT OF A DESCRIPTION OF  |       |                                   |                          |
| ADMINISTRATING AND AND AND ADDRESS AND     | AND THE OTHER ADDRESS AND THE DAY OF THE OTHER ADDRESS ADDRESS<br>ADDRESS ADDRESS | 10.1  |                                   |                          |
| ACCOMPANY AND A 197 AND  | See Trians - Cia, sine or an Example Press, pro-  |       |                                   |                          |
| A. MERICENSER 19 18973 U 2018011   | 、目枕されに施設種のうち酸素に質問したものの割<br>(たわた酸塩酸のたた用料の酸素) ため物 ひったわた。  | 1     |                                   |                          |
| B.P. MerchEntle Figure 114 (118  | CONCRECTMENTS SPHELINGER CIGARE (VI) TVS  |       |                                   |                          |

 画面表示及び3画面表示の場合は「入替え」ボタンを押すことで、画面表示の配置を入 替えることができます。入替えボタンをクリックするたびに、2画面表示の場合は左右 の入替え、3画面表示の場合は時計回りに入替えが行われます。

| 司法試験CBTシステム(体験版)       |           |    |    |         |          |           |                 |          |            |          |                     |           |           |           |                                 | 受験番号 1234              | 5 司法: | 太郎 |
|------------------------|-----------|----|----|---------|----------|-----------|-----------------|----------|------------|----------|---------------------|-----------|-----------|-----------|---------------------------------|------------------------|-------|----|
| 論文式 民事系科目第1間 第1問<br>—— | 構成用紙<br>井 | 問題 | 法文 | še<br>B | 入替え<br>O | שע-<br>10 | 切取り<br><b>X</b> | 船付け<br>口 | ローマ学<br>入力 | かな<br>入力 | <ul> <li></li></ul> | 縮小 :<br>⊖ | フィルタ<br>① | 彩色 (<br>② | し<br>し<br>し<br>し<br>う<br>し<br>う | 残り時間: <mark>00:</mark> | 09:55 | 終了 |
|                        |           |    |    |         |          |           |                 |          |            |          |                     |           |           |           |                                 |                        |       |    |

<2画面>

| 司法試験CBTシステム(体験版)   |                     |                  |               |                |                     |               | 受験番号 12345 | 司法 太郎    |
|--|---------------------|------------------|---------------|----------------|---------------------|---------------|------------|----------|
| 論文式 民事系科目第2間 第2間 第2間 第2間 第2間 第3 日本 15 11 | 法文 芥索 入替え<br>四 田 〇  | ⊐೮– ಉಪರಿ<br>10 % | M付け<br>自<br>2 | -77 πu<br>π λπ | 拡大 線小 フィルタ<br>④ ◎ ❹ | 配告 使い方<br>● ① | 残り時間:00:0  | 0:00 #7  |
| ● (第2問) (配点:100[[設問1]及び[設問2]の記点の割合は、)  | 50:40])             |                  |               |                | 第2間                 |               |            |          |
| 次の文章を読んで、後記の【設問1】及び【設問2】に答えなさい。  |                     | 第2間              |               |                | 0/184行 0/5.52       | )文字 (交白含む)    | 48 EA      | 元に戻すやり直し |
| 1. 甲株式会社(以下「甲社」という。)は、建築設備機器の製造及び販売  | 等を目的とする             | 81.1             |               |                |                     |               | <u> </u>   | <u> </u> |
| 会社法上の公開会社である取締役会設置会社であり、種類株式発行会社で  | はない。甲社の発            |                  |               |                |                     |               |            |          |
| C (以下、A、B及びCを総称して「Aら」という。)の3名の取締役並   | びにDほか2名の            |                  |               |                |                     |               |            | _        |
| 計3名の監査役がおり、Aが代表取締役を務めていた。なお、甲社の取締  | 役であるAらは甲            | 1                |               |                |                     |               |            |          |
| 社の株式を保有していたが、甲社の監査役であるDほか2名は甲社の株式<br>一本  | を保有していなか            |                  |               |                |                     |               |            |          |
| った。<br>乙株式会社(以下「乙社」という。)は、住宅の建設及び売買等を目的  | とする株式会社で            |                  |               |                |                     |               |            |          |
| あり、甲社の発行済株式の総数の20%に相当する100万株を保有する  | 甲社の筆頭株主             |                  |               |                |                     |               |            |          |
| ◎ あった。   | n                   |                  |               |                |                     |               |            | _        |
| <ol> <li>中日の近年の来願が悪ししていたことから、と社は、市和3年7月20<br/>①取締役3名の解任の件、②監査役3名の解任の件、③取締役3名の選任</li> </ol>   | の件、① 重役3            | - 10             |               |                |                     |               |            |          |
| 名の選任の件(以下、これらを総称して「本件各議題」という。)を目的  | とする株主総会の            |                  |               |                |                     |               |            |          |
| 招集を請求した。しかし、甲社は、株主総会の招集通知を発しなかった。  | +) = 441 + 04       | 12               |               |                |                     |               |            |          |
| <ul> <li>ろ、そこて、これは、市和3年9月27日、数年0月01町9を得て、中社の休</li> <li>各議題を目的とする臨時株主総会(以下「本件臨時株主総会1」という。)</li> </ul>   | 主に対し、本件             |                  |               |                |                     |               |            |          |
| 必要事項を記載した招集通知を発した。当該招集通知が入った封書には、  | 議決権行                |                  |               |                |                     |               |            | _        |
| び株主総会参考書類のほか「議決権の行使のお願い」と題する書面(以下  | 「本件書面」              | 16               |               |                |                     |               |            |          |
| す。株主総会参考書類に記載した乙社提案の各議案のいずれにも賛成して  | いただいた方には、           |                  |               |                |                     |               |            |          |
| 後日、1000円相当の商品券を郵送にて贈呈させていただきます。全て  | の議案について同            |                  |               |                |                     |               |            |          |
| 封した議決権行使書面の『賢』の欄に○印を付けて御返送ください。」と<br>た かね 田谷においては 過去の空時地古絵合に際」て 田谷マは田谷   | の記載がされてい            | 20               |               |                |                     |               |            |          |
| 主が一定の内容の議決権の行使又は議決権の行使自体を条件として商品券  | 等を提供したこと            | 21               |               |                |                     |               |            | _        |
| はなかった。   |                     | 22               |               |                |                     |               |            |          |
| 4. 令和3年10月20日、本件臨時株主総会1が開催され、本件各議題に<br>家の各議案はしいずれも出席した株主の議決権の約7.5%の賛成により可  | ついての乙社提<br>決した(以下「本 | 23               |               |                |                     |               |            |          |
| 件決議1」という。)。本件臨時株主総会1においては、出席した株主の  | 議決権の数は、例            | #2 1             |               |                |                     |               |            |          |
| 年の定時株主総会よりも約30%増加し、行使された議決権のうち議案に  | 賛成したものの割            |                  |               |                |                     |               |            |          |
| 合も、例年の定時株主総会において行使された議決権のうち甲社が提案し  | た議案(いずれも            |                  |               |                |                     |               |            |          |

#### <3画面>

| 司法試験CBTシステム(体験版)   |   |   | 受験番号 12345 司法 太郎   |
|--|---|---|--|
| 論文式 民事系科日第1間 第1間   | 構成用紙 問題 法文 答案 入替え<br>↔ 04 1月 1月 00  | □ピー 朝殿り 監付け ローマヂ<br>100 \$K 100 入力  | # な 拡大 縮小 フィルタ 配色 使い方 残り時間:00:09:55 終了   |
| <ul> <li>C第1間) (記点:100(120間1) 友び (払<br/>次の各文章を読べで、後起の(短問10)-(2<br/>なお、新客に当たっては、文中において特定<br/>1月1日現在において地行されている法令に基<br/>(事実)</li> <li>1. Aは、違方に、空き地である甲土地を所<br/>はんてある。</li> <li>2. 令和2年4月1日、Aの子Bは、Aの丁<br/>間で、貸料前5万円、賃貸期間30年間<br/>(以下(契約0)という。)を目の名にお<br/>た、契約0の締結に当たり、Cが、Bに対<br/>る現由を考ねたところ。Bは、(Aは欠で<br/>たものだから、心配はいらない、)と言い<br/>約0には、甲土地の利用及び収益が不可能<br/>0万円と予定する資料約が付された。</li> <li>3. 令和2年7月1日、Cは、甲土地に以図<br/>違し、乙糖にCいかで係有信保存起意を備<br/>4. 令和3年7月10日、Bが急死した。B</li> </ul> | (開2)の記点は、50:50))<br>) 及び (設開2)に答えなさい、<br>されている日時にかかわらず、令和6年<br>べいて答えなさい。<br>有しており、甲土地の所有権の登記名義人<br>業を得ないまま、甲土地について、<br>、地物所有相の登記名、が私であ<br>あり、甲土地地既にみから砂えてあら。<br>あり、甲土地地既にみから砂えてあら。<br>あり、甲土地地既にみから砂えてあら。<br>着った。Cがなお不安がったことから、契<br>になった場合について、相事所備額を30<br>化用地物、QF「乙建物」という。) を発<br>えた。C代、C運物に居住している。<br>は、遺言をしておらず、また、Bの相続人                                  | C 国家協会     C 国家     C 国家 | 日本         アククマーク目           日本         アククマーク目           日本         ・「数のの市法・特定パターター目現在において設けされている内容を重要してい。<br>・<br>数字のは本日日本のと思う、増工に体料目的に広夕し、残ますは命令まとの<br>て変更するため、増加の利用に発展する法令など自然時間に発展する法令であってら<br>必り目の任何に変更されている考慮がある。 |
| は、みの大なある。これ、Bの物理入が調<br>亡後、甲土地の資料を保にしている。<br>5、令和4年4月15日、Aは、甲土地をC<br>甲土地の荷有能に基づき、乙建物を収去し<br>「請水1)という。)。これに対して、C<br><u>と有でうな植れる者している</u> のにそのよう<br>書賠償を受けるまでは甲土地を占有する構<br>(説問 1(1))<br>【事実】1からちまでを前慢として、次のア<br>ア Cは、下線配②の反論と基づいて請求まを<br>イ 下線配②の反論と基づいて請求まを<br>イ 下線配③の反論と基づいて請求まを<br>メージー   | であるみ分からなかってここから、Bの死<br>が利用していることとに気付き。(-24)、<br>て甲土地を明け渡すよう語水!<br>は、「 <u>の私法、契約①に基づい</u><br>な種物がないとしても、① <u>30</u><br><u>利がある</u> 。」と反論した。<br><u>私がある</u> 。」と反論した。<br><u>私がある</u> 。」と反論した。<br><u>私がある</u> 、」と反論した。<br><u>私がある</u> 、」と反論した。<br><u>私がある</u> 、」と反論した。<br><u>私がある</u> 、」と反論した。<br><u>私がある</u> 、」と反論した。<br><u>私がある</u> 、」と反論した。<br><u>私がある</u> 、 |   | 0/184行 0/5,520文字 (安白魚仁)  |

# 7. テキストコピー・切取り・貼付けの使用方法

 画面上部のツールバーにある「コピー」「切取り」「貼付け」ボタンをクリックすることで、答案及び試験用法文、構成用紙・問題エリアに挿入したテキストのコピー・切取り・貼付けが可能です。また、ショートカットキー(Ctrl キー+Cキー)でコピー、ショートカットキー(Ctrl キー+Xキー)で切取り、ショートカットキー(Ctrl キー+V キー)で貼付けをすることも可能です。※問題文のコピーはできません。

| 司法試験CBTシステム(体験版) |                  |         |                                   | 受験番号 00001 司法太郎                |
|------------------|------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------------|
| 論文式 公法系科目第1問 第1問 | 機成用紙 問題<br>井 111 | 法文答案入財法 | ローマ字 かな 拡大 縮小 フィルタ<br>入力 入力 ⑦ 〇 🌒 | 総色 使い方<br>● ① 残り時間:00:00:00 終了 |

2. 各ツールの機能内容は以下のとおりです。

| ツール名称      | ツールバーアイコン | 機能内容  |
|------------|-----------|---|
| テキストコピーツール |           | 答案及び試験用法文、構成用<br>紙、問題エリアに挿入したテキ<br>スト内容のコピーが可能です。 |
| テキスト切取りツール | and o     | 答案及び構成用紙、問題エリア<br>に挿入したテキスト内容の切り<br>取りが可能です。      |
| テキスト貼付けツール |           | コピー・切取りした内容の貼付<br>けが可能です。                         |

- テキストコピーツール・テキスト切取りツールの使用方法は、答案及び試験用法文、構成用紙、問題エリアに挿入したテキストからコピー・切取りたい箇所を選択します。テキストを選択した状態で、テキストコピーツール・切取りツールをクリックすることで、選択したテキスト内容のコピー・切取りすることが可能です。 なお、テキストのコピー・切取りは、テキスト選択した状態でマウスを右クリック又はショートカットキーを入力することでも操作が可能です。
- コピー・切取りしたテキストは、貼付け可能な箇所にて、テキスト貼付けツールをクリ ック、マウスを右クリック又はショートカットキーを入力することで、貼付けすること が可能です。

# 8. 画面表示切替機能の使用方法

## 8.1 画面表示倍率の変更

1. 画面上部のツールバーにある「拡大」「縮小」ボタンをクリックすることで、画面全体 の表示倍率変更が可能です。

| 司法試験CBTシステム(体験版)    |                  |                           | 受験番号 00001 司法 太郎               |
|---------------------|------------------|---------------------------|--------------------------------|
| 論文式 公法系科目第1問 第1問 構成 | i成用紙 問題 法文 答案 入替 | #え ⊐ビー 切取り 粘付け ローマ字 かな 鉱大 | ★ 縮小 フィルタ 配色 使い方               |
|                     | 井 ロ 門 厚 C        | ●                         | ○ ○ ○ ○ ○ ● ○ 残り時間:00:00:00 終了 |

#### 2. ツールの機能内容は以下のとおりです。

| ツール名称     | ツールバーアイコン | 機能内容                   |
|-----------|-----------|------------------------|
| 表示倍率変更ツール | $\oplus$  | 画面全体の表示倍率の変更が可能で<br>す。 |

## 8.2 画面全体の色を変更する

画面上部のツールバーにある「フィルタ」ボタンをクリックすることで、変更可能な色の一覧が表示され、画面全体の配色変更が可能です。
 ※色の一覧にある「なし」が通常色となります。

| 司法試験CBTシステム (体験版) |           |          |    |    |          |            |                 |     |            |          |    |         |      |          | 受        | 験番号 00001 📑 | 司法 ス | ⊂£Ø |
|-------------------|-----------|----------|----|----|----------|------------|-----------------|-----|------------|----------|----|---------|------|----------|----------|-------------|------|-----|
| 論文式 公法系科目第1問 第1問  | 構成用紙<br>井 | 問題<br>DÚ | 法文 | 答案 | 入替え<br>〇 | שע-<br>שע- | 切取り<br><b>米</b> | 脂付け | ローマ字<br>入力 | かな<br>入力 | 益大 | 痛小<br>日 | フィルタ | 42@<br>₽ | 使い方<br>① | 残り時間:00:00  | 0:00 | 終了  |

#### 2. ツールの機能内容は以下のとおりです。

| ツール名称      | ツールバーアイコン        | 機能内容   |
|------------|------------------|--|
| 画面全体色変更ツール | <sup>3+6,4</sup> | 画面全体の色の変更が可能で<br>す。<br>なし、黄色、水色、黒色から選<br>択ができます。 |

## 8.3 画面(問題エリアを除く)背景色の変更

 画面上部のツールバーにある「配色」ボタンをクリックすることで、変更可能な色の一 覧が表示され、画面(問題エリアを除く)の背景色変更が可能です。
 ※色の一覧にある「なし」が通常背景色となります。

| 。<br>司法試験CBTシステム(体験版) 受験番号 00001 司法 太郎           |           |  |  |  |  |  |  |
|--|-----------|--|--|--|--|--|--|
| <sup>論文式 公法系利目第 1 間 第1 間</sup><br>2. ツールの機能内容は以下 | 「         | かな 版大 編か フィル2 配色 駅小万<br>入刀 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |  |  |  |  |  |
| ツール名称  | ツールバーアイコン | 機能内容   |  |  |  |  |  |
| 配色変更ツール  | e 🏵       | 画面(問題エリアを除く)の背<br>景色の変更が可能です。<br>なし、黄背景、青背景、黒背景<br>から選択ができます。    |  |  |  |  |  |



2. 論文式試験に係る操作マニュアルの画面が表示され、縦スクロールで確認が可能です。



3. 画面右上の「×」ボタンをクリックすることで、閉じることが可能です。



「はい」を選択することで「ホーム画面」に戻ることができます。また、
 「いいえ」を選択することで試験画面に戻ります。

| 確認         |       |
|------------|-------|
| 試験を終了しますか? |       |
|            | いいえはい |

※実際の試験は、試験時間を経過すると自動で終了する予定ですが、体験版 においては、設定した試験時間を経過しても自動で終了しません。

また、体験版には、答案の出力・保存機能はありません。終了ボタンをク リックしたタイミングで答案の内容が失われてしまいますので御注意ください。

## 11.(参考)修正等履歴

#### R7.4.25 公開版における修正点

・使用できる消しゴムのサイズを1段階(固定)から3段階(大中小)へ選 択可能としました。

・答案画面の右上に表示される「残り時間」の表示を拡大しました。

・テキスト入力ツールの背景色を変更可能としました。

・テキスト入力ツールについて、入力後の位置の変更を可能としました。

・構成用紙ツールの表示位置を変更しました。

・答案用紙等に記載できる文字について、見出しに使用する「(1)、①、

i」等の環境依存文字を使用可能としました。

・一部のショートカットキー(コピー、切取り、貼付け、元に戻す)を使用 可能としました。

・その他、軽微な不具合を修正しました。